

用語集

臨海部ビジョンにおける用語等の意味は以下のとおりです。

あ行

➤ イノベーション

それまでのモノ・仕組みなどに対して全く新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出して社会的に大きな変化を起こすこと。

➤ エコタウン

地域の産業蓄積などを活かした環境産業の振興、地域の独自性を踏まえた廃棄物の抑制を通じた環境調和型のまちづくりの推進を目指す取組。

➤ エネルギーソリューション

創エネ・蓄エネ・省エネをトータルで行うことにより、利用者の安全・安心、快適を実現させ価値の最大化を図るもの。

➤ オープンイノベーション

自社だけでなく他社や大学、地方自治体、社会起業家など異業種、異分野が持つ技術やアイデア、ノウハウ、データなどを組み合わせ、革新的なビジネスモデル、研究成果、製品・サービス開発等につなげること。

か行

➤ カーボンニュートラル

地球温暖化による気候変動を背景として、温室効果ガスの排出量の削減並びに吸収作用の保全及び強化を図り、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。

➤ キングスカイフロント

世界的な成長が見込まれるライフサイエンス・環境分野を中心に、世界最高水準の研究開発から新産業を創出する殿町国際戦略拠点。「キング(King)」は、「Kawasaki INnovation Gateway」の頭文字と「殿町」の地名に由来。

➤ ゲームチェンジ

従来からのものの捉え方を変換させ、人々の行動様式や社会の制度を根本的に変えてしまうような技術的変革や社会的変革のこと。

さ行

➤ シェールガス革命

従来はコスト的、技術的に困難であったシェールガス（地下数百～数千メートルの頁岩(けつがん)層に含まれているガスで、主成分はメタン）の生産が本格化したこと、低コストの非在来型天然ガスが登場したことによる、世界の天然ガス供給やエネルギー秩序に及ぼす影響を指す言葉。

➤ 次世代モビリティ

次の時代の人や物の移動に関する社会的な課題解決を目的とする乗り物や移動手段のこと。例えば、自動運転走行による自動車、軽自動車よりさらに小さい1～2人乗りの超小型モビリティ、必要なときにだけ利用できる自転車や自動車等のシェアリング等。

➤ 職住近接

職場と住居との距離が近いこと。

➤ ショールーム機能

臨海部で行われている取組や臨海部の立地企業・研究機関の活動の成果の展示などを通じ、臨海部について理解を深める仕掛けのこと。

➤ シーバース

海上でタンカーから石油を受け取るための施設。沖合に設けられた浮き栈橋で、石油はここからパイプを通じて陸へ送られる。

➤ スクラップ・アンド・ビルド

老朽化したり陳腐化したりして物理的または機能的に古くなった設備を廃棄し、新鋭設備に置き換えること。

➤ **スマート化**

ICTを駆使し、状況に応じて運用を最適化する高度な情報処理能力や管理・制御能力を持ったシステムを構築すること。

➤ **ゼロエミッション**

生産、消費活動等で発生する廃棄物をゼロにしようとする仕組み、考え方。

た行

➤ **第4次産業革命**

あらゆるものがインターネットにつながり、そこで蓄積される様々なデータを人工知能などを使って解析し、新たな製品・サービスの開発につなげる動きのこと。

➤ **低未利用地**

適正な利用が図られるべき土地であるにもかかわらず、長期間にわたり利用されていない「未利用地」と、周辺地域の利用状況に比べて利用頻度、整備水準、管理状況などが低い「低利用地」の総称。

➤ **土地の整序化**

立地している企業・施設が相乗効果を生み、臨海部全体の価値が向上するよう、土地の最適配置を図ること。

は行

➤ **パリ協定**

2015年の秋にパリで開催されたCOP21(気候変動枠組条約締約国会議)会議で決定した協定のこと。21世紀後半までに人間活動による温室効果ガスを実質的に0にすることや、各国における温室効果ガスの削減目標の再設定などが話し合われた。

➤ **プラットフォーム**

物事を行うための基礎となる仕組みを意味する言葉。

ら行

➤ **ライフサイエンス**

生命が営む生命現象の複雑かつ精緻なメカニズムを解明することで、その成果を医療・創薬の飛躍的な発展や、食料・環境問題の解決など、国民生活の向上及び国民経済の発展に大きく寄与するものとして注目を浴びている分野。

➤ **ライフライン**

電気、ガス、上下水道、電話、交通、通信などの市民生活の基盤・生命線となるシステムのこと。

➤ **リカレント教育**

義務教育または基礎教育の修了後、生涯にわたって教育と就労などの諸活動を交互に行うことを勧める教育システム。

➤ **リノベーション**

既存の建物に大規模な改修工事を行い、用途や機能を変更して性能を向上させ、付加価値を与えること。用途変更や機能の高度化を図り、刷新すること。

➤ **レジリエンス**

強靱性・回復力・困難に対する耐性。

➤ **ロジスティクス**

原料の手当てから販売まで、企業の物流活動において発生する物流の各分野を統合し、物の流れを一元管理して、全体の最適化をするための考え方のこと。

わ行

➤ **ワークライフバランス**

仕事と生活の調和を図ること。

A B C

➤ **A I**

「Artificial Intelligence」の略で、人工知能を意味する言葉。

➤ **B C P**

「Business Continuity Planning」の略で、災害などの緊急事態が発生したときに、企業が損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための計画。事業継続計画と呼ばれる。

➤ **BRT**

「Bus Rapid Transit」の略で、バス高速輸送システムと呼ばれ、連節バスやPTPS（公共車両優先システム）、バスレーン等を組み合わせることで、速達性・定時性の確保や輸送能力の増大が可能となるシステム。

➤ **CO₂フリー水素**

再生可能エネルギーにより水を電気分解する方法で製造される水素。製造時のCO₂排出を抑制できるため、CO₂排出量削減に大きく貢献できる。

➤ **DX**

「Digital Transformation」の略で、データとデジタル技術を活用して、製品やサービス、ビジネスモデル、さらには、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争力維持・強化を図ること。

➤ **ICT**

「Information and Communication Technology」の略で、情報通信技術を意味する言葉。

➤ **IoT**

「Internet of Things」の略で、あらゆるものがインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術を意味する言葉。従来のパソコン、スマートフォンのほか、各種センサーや送受信装置などが相互に情報をやりとりできるようになり、新たなネットワーク社会が実現すると期待されている。

➤ **Society5.0**

仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題

の解決を両立する、人間中心の社会のこと。IoTやAIにより、必要な情報が必要な時に提供されるようになり、社会的課題を克服し社会の変革を生み、希望の持てる社会、世代を超えて互いに尊重し合あえる社会、一人一人が快適で活躍できる社会を実現する概念。

➤ **SWOT分析**

目標を達成するために意思決定を必要としている組織や個人のプロジェクトなどにおいて、外部環境や内部環境を強み(Strength)、弱み(Weakness)、機会(Opportunity)、脅威(Threat)の4つのカテゴリで要因分析し、事業環境変化に対応した経営資源の最適活用を図る経営戦略策定方法の一つ。戦略立案を行うための現状把握を行うために活用される。

臨海部ビジョン
〔リーディングプロジェクト 2023年6月改定〕

川崎市

(問い合わせ先)

川崎市臨海部国際戦略本部事業推進部

電話：044-200-0524

FAX：044-200-3540

E-mail：59jigyo@city.kawasaki.jp

(2018年3月発行：臨海部ビジョン)

(2023年6月改定：臨海部ビジョン〔リーディングプロジェクト 2023年6月改定〕)



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市